

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 9 日作成)

委員会名	環境教育研究会	主 査 名：重村 力
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>1) 農村計画委員会を研究母体として行った文部科学省科研基盤研究(A)「児童生徒の農的体験を通じた環境教育に関する研究」(平成 11 年度 13 年度、代表 重村力)及び 2002 年度農村計画部門研究協議会「子供の農的体験からみた学校・地域環境づくりの新たな展望」の成果をもとに、出版構想をたて、刊行企画を準備する。</p> <p>2) 環境教育に関する国内外の情報を収集し、公開研究会、シンポジウムを開催する。</p> <p>3) 研究成果をホームページ等により公開する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	重村力(神戸大学)、河野泰治(福岡大学)、川嶋雅章(明治大学)、木下勇(千葉大学)、伊藤庸一(日本工業大)、藍沢宏(東工大)、三橋伸夫(宇都宮大)、内田文雄(山口大)、工藤和美(明石高専)、内平隆之(神戸大)、神吉紀世子(和歌山大)、山崎寿一(神戸大)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2004 年度予算	0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>1) 公開研究会の実施：題目「エコロジカルな環境再生 - ドイツの挑戦」 開催日：2004 年 11 月 19 日。場所：神戸大学。講師：エクハルト・ハーン(ドルトムント大学)、工藤和美(明石高専)、内平隆之(学振 COE 特別研究員) 参加：50 名</p> <p>2) 主査幹事会(2回)：2004 年 8 月、2004 年 10 月。</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1) ドイツにおける環境再生の新たな動きについて公開研究会を行い、都市のエコステーションをはじめとする新たな都市のエコロジー化の取り組み、廃坑を環境アートで再生する取り組みの紹介がなされた。ここでは環境アート、環境教育と一体となったドイツの環境再生の新たな方向が示された。</p> <p>2) 環境教育に関する出版構想について主査・幹事による検討会を実施し、今年度と来年度は内容を充実させるための国内外の先進的事例の公開研究会を行い、次期に刊行企画、出版を行うスケジュール案を作成した。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の活動計画の多くを達成したが、以下の課題が残った。</p> <p>1) 刊行企画が不十分で今後さらに進めること。</p> <p>2) 研究会のホームページの作成</p>
その他評価すべき事項	